

# ひまわり新聞 10



内堀雅雄知事とひまわりポーズで記念撮影

## 福島県 内堀雅雄知事へ「ひまわり甲子園全国大会」をPR

2015年2月19日、福島ひまわり里親プロジェクトは2月21日に開催する「ひまわり甲子園2016全国大会」のPRに、福島県庁の内堀雅雄知事を表敬訪問させていただきました。

表敬訪問にはガールスカウト福島県連盟の伊藤さんとチームふくしま大和田理事は「福島県内でたくさんひまわりを咲かせ、全国から福島に足を運んでくれる人を増やしたい」と内堀知事へPR。内堀知事より、ひまわりというコンセプトをもとに、福島から全国、全国から福島に交流が広がることへの期待のお言葉を頂戴しました。

福島県では、株式会社フジテレビジョン様が「お台場新大陸2014」でひまわりを咲かせ、できた種を2014年冬に内堀知事が受け取られ、2015年7月、福島県須賀川市の「福島空港メガソーラー」エリアにひまわりを咲かせていただきました。

NPO法人チームふくしま  
福島ひまわり里親プロジェクト

TEL.024-563-7472  
HP: <http://www.sunflower-fukushima.com/>

メルマガ登録



## 旭南小学校と湯本第一小学校 奇跡のひまわり交流

大和田 愛真  
(NPO法人チームふくしま  
子ども代表理事 大和田紗希 母)



2016年6月10日、福島県いわき市立湯本第一小学校の6年生と茨城県銚田市立旭南小学校の5、6年生でひまわりの種まき交流会が行われました。湯本一小は現在子ども理事の大和田紗希が通う学校です。そしてこの日まかれた種は、2015年3月まで紗希が通っていた旭南小で育てたひまわりから採れた種です。

2011年3月、東日本大震災と東京電力第一原子力発電所事故が発生。紗希はこの時、現在の避難指示区域である富岡町に父、母、妹と家族4人で暮らしていました。地震の後、一時県内の避難所に身を寄せましたが、数日で避難先を母の実家がある茨城県銚田市へと移しました。

震災の年の春に紗希は小学校入学を迎えていました。富岡町で通う予定だった小学校の再開の情報などがなかったため、避難先の旭南小学校に通うことを決めました。

避難から約1年後、父は仕事のために単身福島へ戻り、さらに3年後の2015年4月、家族がそろって暮らすために茨城で避難を続けていた紗希たちもいわき市へと引っ越し、学校も転校することになりました。

転校手続きを進める中で銚田市の花がひまわりであることに気づきます。そこで、転校前の児童集会で福島ひまわり里親プロジェクトへの参加を呼びかけ、数十粒の種を託しました。旭南小では紗希

姉妹からの呼びかけに答え、年度が変わった5月に児童会が中心となり「旭南ひまわりプロジェクト」を立ち上げます。姉妹から託された種だけでは足りないということで、追加の種を購入するために最初に全校児童に呼びかけました。さらにポスターなどを手作りして地域の商店などに貼ってもらい、地域の方にもプロジェクトの参加を呼びかけました。集まった募金や賛同してくれた里親さんで種を購入。6月に入り学校の校庭へ全校児童で種まきをしました。一生懸命に育てたひまわりはすくすく成長して8月には約千株のひまわりが咲き誇りました。

紗希姉妹は転校後、なかなか新しい環境に馴染むことができませんでした。そんな時、旭南小のみんなの存在が大きな支えとなっていました。湯本一小の振替休日に旭南小を訪ねたり、夏休みに開かれる学習会に参加したりと交流が続きます。秋に行われた旭南小の運動会では放送担当の児童の代わりに綱引きに出場。児童、先生、保護者の方が温かく迎えてくれました。10月末に行われた旭南小の行事の中では福島の現状を伝えさせてもらい、その後に



ひまわりがきっかけに交流が実現した茨城県銚田市立旭南小学校5、6年生と福島県いわき市立湯本第一小学校6年生

60キロ超のプロジェクトの種を受け取ってきました。今回、湯本一小と旭南小の交流会でまかれた種はこの時に受け取った種の一部です。

旭南小の昨年度の6年生は2016年2月に福島市で開かれたひまわり甲子園全国大会に参加し、学校での取り組みを発表。その中で「プロジェクトを通して地域とのつながりが、自分たちが思っていた以上に広がった。それが嬉しかった。」と言っていました。また、「自分たちの周りにはほとんど復興し、震災の記憶も遠くなっていた。しかし、大和田さん姉妹を通して福島の現状を知ることができた。これからも銚田市の花であるひまわりを咲かせて、福島を応援していく。」と締めくくっていました。

そしてそれぞれが進級した今年、紗希が通う湯本一小でも6年生がひまわりプロジェクトに参加することになり、遠足でいわき市に来る旭南小の5、6年生との種まき交流会が実現しました。例年であれば旭南小の遠足先は東京でしたが、ひまわりプロジェクトを通してつながり続けたことで行き先がいわき市になりました。紗希は「転校前に種を託した時、一緒にま

けるとは思ってもいませんでした。ひまわりを大切に育てます。」とあいさつをし、とても嬉しそうでした。転校という一般的な連想されるのは「別れだ」と思います。しかし、湯本一小と旭南小は紗希姉妹の転校により「新たなつながり」を生み出すことができました。

旭南小では今年度も福島ひまわり里親プロジェクトへの参加を決め、児童会が動き出しました。プロジェクトを通して地域とつながること自分たちの生まれ育った場所を大切に思う気持ちをはぐくみ、友達とつながること優しさや思いやりの心が育っています。

そして紗希姉妹もプロジェクトを通してつながり続けられたことで、応援してくれる方たちに支えられて新たな一歩を踏み出すことができました。そういう人と人との温かみを感じてもらえたらと願っています。







福井県鯖江市立待小学校と福島県小名浜市立小名浜第二小学校の子どもたち

2016年2月21日、「ひまわり甲子園2016全国大会」を開催させていただきました。今年は、前日の20日に「選考会・分科会」を開催し、各地方4団体の全国大会出場を賭けた熱戦と交流会が行われました。

全国大会では、福島県と全国の交流事例、各地方大会の代表者、前日の選考会から選出された代表者の計8団体が感動の物語を発表。2日間で全国各地から約600名がご来場くださいました。

福島ひまわり里親プロジェクトに関わってくださるすべての皆様、今大会に関わってくださいましたすべての皆様へ厚く御礼申し上げます。

## くひまわり甲子園 発表者の声く

1. 福島県代表  
いわき市立湯本第一小学校  
五年 大和田紗希様



ひまわり甲子園全国大会  
でお話しをさせて頂き本当  
にありがとうございました。  
発表が終わってから会場の  
方に、

「紗希さんの話を聞いて、改めて家族の大切さを感じる事ができたよ。ありがとう。」

と言って頂けました。その方が喜ぶところを見られてとても嬉しかったです。

もう一つ嬉しかったことは、旭南小の六年生の発表を聞けたことです。発表を聞いていると、どれだけ熱心に活動してくれたのが伝わってきました。今年は私が通つ

2. 茨城県代表  
銚田市立旭南小学校  
六年 米川湧也様

ひまわりプロジェクトの活動開始から約十カ月。このプロジェクトの中心となり活動した僕は、ひまわり甲子園全国大会に行くことになった。プレゼンやハマユウリンの役など、たいした事はやっていないが、そのステージに立ってみて分かった。大事なものはその取り組みに対する気持ちなんだと。僕はこのプロジェクトをやって本当に良かったと思う。

2. 茨城県代表  
銚田市立旭南小学校  
六年 米川湧也様

3. 九州・沖縄地区代表  
福岡県立西田川高等学校  
三年 横田悠里香 様

私は福島ひまわり里親プロジェクトの事を高校の文化祭で知りました。ひまわりの

5. 関西地区代表 (三重県)  
松坂市立阿坂小学校  
六年担任 藤村千雪 様

2015年度も子どもたちはひまわりを育て、福島の方たちと交流を行った。阿坂小学校6年生にとつてのひまわりは、自分たちが行動するための勇気の花となっていた。卒業までに福島に行きたい。ひまわり甲子園福島大会に出場することは子どもたちの夢でした。福島で福島の人々と話したいとの思いで、大根を育て販売し地域の方々に思いを伝えながら旅費をつくろうと行動しました。目標に達しなかったとき涙があふれたけれど、ビデオでの参加で思いを伝えられたことは大きな喜びとなりました。



卒業式には、一人ひとりが  
将来の夢を語り、そこには常  
に福島への思いがありまし  
た。

中学生になった今年もひまわりから学んだことを市民に伝えました。これからもあとの大きな感動を忘れることなく、「ひまわり」の絆は切れることなく、ひろ

種を植えることで遠く離れた九州の福岡県からも復興のお手伝いができるという事を知り、参加させて頂きました。実際に福島市や浜通りに行き、ひまわり甲子園を通して感じたことは、人と人との繋がりがとてもあったかということでした。たくさんの人が福島に對する熱い思いや物語を発表し合って、会場が一体化するのを感じました。それと同時に、もっとたくさんの人がこのプロジェクトに参加して欲しいと思いました。九州でもぜひこのプロジェクトのことを広めていきたいと考えています。事務局やスタッフの皆さん、本当にありがとうございます！



がっていくと思います。

6. 選考会代表(岡山県)  
晴れの国発！福島ひまわり  
里親プロジェクト

2016年 福島ひまわり  
里親プロジェクトの岡山代表  
に選拔されまして、私の持ち  
味は友人達の協力あつての  
ことだったので、念願の福島  
へ、ムービーに込めたみんな  
の思いを連れて行きたいと  
考えました。ムービー出演を  
快く引き受けてくれた仲間  
達の素敵な笑顔と思いを届  
けられたことに、私は大満足  
しています！とても価値の  
る経験ができて、幸せです！

7. 福島県代表  
みんなのひまわり  
荒木健夫様

福島市内で「みんなのひまわり」という有志の取り組みが始まったのは平成27年4月。ある町会長が「子供でも読める様に」と、全て平仮名で名付けてくれました。

の解消になると期待されて  
いました。ひまわりを育てる  
事を通して、保育所の子供か  
ら老人会のお年寄りまでが  
一緒に取り組みました。

ある町会では、一本一本に  
子供たちの名札を付けて、町  
内みんなで育ててくれました。  
秋にはひまわりの成長によ  
って賞を作り、子供たちに

4. 中国・四国地区代表  
広島修道大学ボランティア  
サークル Rapporrt  
米田 公平 様



ラポールは全国大会を通して、ひまわりで明るい未来が作れることを改めて実感しました。お金やモノは人にとって必要ですがそれ以上に大切なのは気持ちという見えないものです。気持ちは時に暗くなり時に明るく変化します。幸せを感じることは気持ちが変化することです。気持ちが変化する機会としてひまわりはとても良い気持ちにさせてくれます。どうかこの活動が何年、何十年と続き、形には表せない幸せを配る活動が続くことを心から願っています。

賞品をプレゼント。今年のひまわりも順調で、きつと実りの秋になる事でしょう。

この取組みを「ひまわり甲子園」で報告し、地域の皆さんと一緒に種を届けることが出来て、本当に良かったと思っています。ありがとうございます。

8. 関東地区代表(千葉県)  
がんばれ福島そうさ応援団  
上代 果穂様  
(ガールスカウト千葉県第98団)

昨年の全国大会で頂いた感動をお返しできるよう、地域の方々と協力しながら活動してきました。

地道な作業の連続でしたが、全国大会で発表できたことはとても貴重な体験でしたし、続けてきてよかったと思つた瞬間でした。

緊張していた私にスタッフの方が「大丈夫大丈夫」と笑顔で声をかけてくださった時は、福島の人々の暖かさに心が癒やされ、スタッフの方がひまわりに見えました。

私も誰かのひまわりになれるよう、この活動をもっと広めていきたいと思います。



代表

6. 晴れの国発!  
福島ひまわり里親プロジェクト

7. みんなのひまわり→



福島市長 小林 香 様



福島県 総務部  
風評・風化対策監(兼)知事公室長  
野地 誠 様



茨城県鉾田市立旭南小学校6年生の子どもたち



# ひまわり甲子園 2016選考会

ひまわり甲子園2016全国大会前日の2月20日(土)、各地方4団体の全国大会出場を賭けた発表と交流会の「ひまわり甲子園2016選考会」が福島市ポリテクセンターで行われました。

参加者による投票の結果、岡山県代表の「晴れの国発!福島ひまわり里親プロジェクト」が全国大会への出場権を手に入れました。その後は、参加者同士の交流を深める食事交流会が行われ、会津紙芝居やマジックショーなどの催しを楽しみながら歓談の時を過ごしました。



優勝 晴れの国発!福島ひまわり里親プロジェクト  
日野浦 美香 様



左から、晴れの国発!福島ひまわり里親プロジェクト(岡山県)・松坂市立中部中学校(三重県)・宇治市立広野中学校(京都府)・佐世保市立清水中学校(長崎県)の4団体が選考会に出場。

## 震災があったからこそ生まれた物語 ひまわり甲子園2016地方大会・2017全国大会

### 地方大会発表者・参加者募集

各地方大会発表者のご応募、参加申込は福島ひまわり里親プロジェクト事務局まで  
メール/info@sunflower-fukushima.com

#### 長野県塩尻市

##### ひまわり甲子園2016 信州北陸大会

2016年 11月 3日 |木・祝|9:30~12:00  
「陽だまりの家」(長野県塩尻市金井811)  
参加費:活動協力金として1,000円(高校生以下無料)  
懇親会費:2,000円  
主催:福島ひまわり里親プロジェクト長野

#### 広島県尾道市

##### ひまわり甲子園2016 中国・四国大会

2016年 12月 11日 |日|10:00~13:00  
しまなみ交流館(広島県尾道市東御所町10-1)  
参加費:1,500円(高校生以下無料)/懇親会費用別途  
主催:ひまわり甲子園中国・四国大会実行委員会

#### 福島県福島市

##### ひまわり甲子園2017 全国大会

2017年 2月 19日 |日|  
福島テルサ(予定)  
各地方大会の代表者によるプレゼンテーション・  
全国から福島の参加団体の皆さまによる種の贈呈式が予定されています。

for you  
for Japan

#### 神奈川県

##### ひまわり甲子園2016 関東地区大会

2016年 11月13日 |日|

#### 京都府京都市

##### ひまわり甲子園2016 関西地区大会

2016年 8月 11日 |木・祝| 10:00~13:00  
Jimukino-Ueda bldg.  
参加費:3,000円(高校生以下無料)

#### 熊本県熊本市

##### ひまわり甲子園2015 九州・沖縄大会

2016年 10月 15日 |土|13:30~16:30  
熊本市市民会館(熊本県熊本市中央区桜町1-3)  
参加費:3,000円/懇親会費用別途  
★特別条件★黄色着用の方に限り参加無料



1.オープニングアクト AKB84(大越町の皆様) 2.ご来賓の皆様 3.関東地区代表 がんばれ福島そうさ応援団 4.司会 山地美紗子アナウンサー(ラジオ福島)  
5.選手宣誓 福島県立若松商業高等学校1年 折笠 蓮 様 6.総括 国立大学法人福島大学行政政策学類 教授 鈴木 典夫 様 7.里親様からのメッセージ 8.各地方大会主催者へサプライズ表彰 9.全国から福島へひまわりの種贈呈 10.オープニングアクト 山木屋太鼓×チームふくしま



## 2016.5.3 種まき人前式



2016年5月3日、8月のひまわり結婚式に向けて、遠藤洋之さん・直美さん夫妻、浦本剛徳さん・洋子さん夫妻が種まき人前式として、ひまわりの愛の種まきを行いました。3万本のひまわりを挙式会場に飾るため、大越町の皆様はじめ全国の里親さんや、福島大学の学生ボランティアなど総勢約50人が集まり、ポットや畑の種まきを行いました。

## 2016.6.5 苗植えイベント



6月5日、5月の種まき人前式で植えたひまわりの種が15cmほどの苗に成長していました。ポットで育った苗は、牧野ひまわり会様を中心に、ひまわり結婚式会場となる愛宕つつじ公園に植え替えられます。

苗植えの後は、大越町民の皆様でバーベキュー。地域の交流や親睦を深める場を通して、地域の絆を強く生み出していることも、大越町で毎年立派なひまわりが咲き誇る秘訣の一つです。

# sunflower wedding

## 2016年8月15日 挙式

2組の新郎新婦は、ご親族、大越町町民の方や全国から祝福に駆けつけた里親さんに見守られながら、ひまわり畑から入場。ウェディングコーラスが会場を包み、新郎新婦の愛とひまわりで笑顔と幸せにあふれたひと時を過ごしました。



種まき人前式、苗植えイベントを経て、牧野ひまわり会様の日頃のお力添えにより約3万本のひまわりが満開に咲き誇りました。  
しそジュースを使用したウェルカムドリンク、手作りブーケや参加者全員によるアーチの歓送、どれも大越町と参加者の皆様の温かさが伝わる世界に一つの結婚式となりました。



プロジェクトの話を聴く岡谷市立上の原小学校の児童

半田さんが話し始めると食い入るように話に入っていく感じが伝わってきました。最終日は、一般向けに、理事の吉成さん半田さんに講演をして頂きました。吉成さんは、項目に参加者を選んでいただき、5年前の震災当日に戻りました。半田さんには、プロジェクトの取り組みについて、また大和田理事の言葉に、会場の皆さんが、一つになりました。  
後日、担任の先生から教えて頂いた話なのですが「今まで宿題を一年は、計5校を廻りましたが、全ての小学校の2年生〜6年生と幅があり内容については作り込んでいただきました。」



今年も、去る5月25〜28日に渡り「ひまわりキャラバン」として、プロジェクトの皆のお力をお借りして行う事が出来ました。今年も、

回も、してこなかった子どもが、プロジェクトの感想文を書いてきたんです！と嬉しそうにお話頂けた事に、このプロジェクトの奥の深さを感じた事となりました。今年も沢山の物語が生まれる確信を持った出来事でした。

## 熊本地震災害 支援募金のご報告

2016年4月14日、熊本県を中心とした地震に於きまして、福島ひまわり里親プロジェクトでは寄付金を募集させていただきました。

全国の皆様よりいただきました寄付金は、熊本県の里親様へのお見舞い(水・お菓子)と「きずなの種セット」を送らせていただきました。また、熊本県在住の広告会社に務める竹下様より「被災地の学校でひまわりを育てたい」とのお申し出があり、「きずなの種」を寄付させていただきました。現在「熊本ひまわりプロジェクト」(<http://kumamoto2016himawari.com/>)として熊本の復興にお役立ていただいております。

熊本のために想いや寄付金を寄せていただきました皆様に心より御礼申し上げます。そして、熊本の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

講演会『ひまわりが繋いだ思いやりと防災を学ぶ』  
(日本ガイシ労働組合主催)

6月4日(土)、愛知県名古屋市の日本ガイシ株式会社様にて、日本ガイシ労働組合主催『ひまわりが繋いだ思いやりと防災を学ぶ』の講演会が行われ、半田真仁理事長、大和田紗希理事が講演をさせていただきました。

講演会後、来場された皆さんと一緒に日本ガイシ株式会社様の花壇に「きずな」の種まきを行いました。そのひまわりが8月、立派に咲きそろう花壇を彩っていました。

日本ガイシ労働組合様、日本ガイシ株式会社様、ありがとうございます。



## ひまわりキャラバン in 長野

子どもたちの変化  
プロジェクトの奥深さ実感  
ひまわりキャラバン主催 山田雅彦







## 福島市

- ・茶話本舗サービス湧水堂
- ・アース株式会社
- ・イヴの森
- ・きしなみ酒店
- ・月電工業株式会社
- ・まるせい果樹園
- ・福島民報社
- ・愛隣幼稚園
- ・福島わかさ幼稚園
- ・福島県立盲学校
- ・福島市立大島中学校
- ・アイリス学園
- ・福島カトリック幼稚園
- ・福島市社会福祉協議会
- ・福島市
- ・福島市立清水中学校
- ・福島県立大笹生養護学校
- ・美容室びいす
- ・福島交通株式会社
- ・NTT東日本 福島支店
- ・整体院縁
- ・ぼんさいや あべ
- ・森合町内会
- ・フレッシュ株式会社
- ・株式会社クラロン
- ・株式会社フクトウ
- ・caféひらなが
- ・伏見珈琲
- ・株式会社こんの
- ・福島県立福島明成高等学校
- ・ケア工房 美いず

## TAYORI café

- ・福島信用金庫
- ・株式会社ら・さんたランド
- ・ガールスカウト福島連盟

## 二本松市

- ・二本松市立東和中学校
- ・二本松市立岩代中学校
- ・二本松市立二本松第一中学校
- ・二本松市立二本松第二中学校
- ・二本松市立二本松第三中学校
- ・浪江町立浪江中学校
- ・二本松亀谷郵便局
- ・NPO法人福祉教育等支援グループ空
- ・二本松市
- ・二本松信用金庫
- ・JICA二本松

## 郡山市

- ・ハーモニー日和田
- ・福島県立あぶくま養護学校
- ・郡山市立三穂田中学校
- ・株式会社柏屋
- ・イオンタウン郡山
- ・株式会社adica
- ・夢成株式会社

## 第98回全国高校野球選手権大会 福島県代表 聖光学院高等学校ベスト8!

2016年4月、聖光学院高等学校の野球部へひまわりの種を寄贈。

7月、里親さんの想いを胸にひまわりとともに、全国高校野球選手権大会(夏の甲子園)出場を賭けた福島大会に臨み、戦後最長記録、10年連続13回目の出場を果たしました。

全国高校野球選手権大会では2年ぶり4回目の8強入り。福島県民に勇気と希望を与えました。聖光学院高校野球部の皆さまおめでとうございます!



## 白河市

- ・白河菓匠 大黒屋

## 川俣町

- ・山木屋太鼓
- ・川俣町立川俣中学校

## 須賀川市

- ・須賀川市立小塩江小学校
- ・福島県立岩瀬農業高等学校
- ・須賀川市立第二小学校
- ・JR須賀川駅
- ・イオンタウン須賀川
- ・須賀川信用金庫

## 伊達市

- ・うぶかの郷
- ・伊達市社会福祉協議会
- ・聖光学園高等学校
- ・伊達市立石田小学校

## 田村市

- ・田村市立船引小学校
- ・大越町牧野ひまわり会
- ・大越まちづくり協議会

## 会津若松市

- ・会津若松市立河東学園小学校
- ・あいづひまわりプロジェクト
- ・会津太陽光発電株式会社
- ・守屋の里水環境保全会
- ・会津電力株式会社

## 会津坂下町

- ・NPO法人NIVO
- ・会津坂下町立坂下東小学校
- ・株式会社太郎庵

## 南会津町

- ・ペンション会津六名館



## 喜多方市

- ・農泊 若草物語

## 猪苗代町

- ・福島県立猪苗代養護学校
- ・猪苗代町立猪苗代小学校
- ・猪苗代ハーブ園

## いわき市

- ・いわき市立湯本第一小学校
- ・いわき市立湯本第一中学校
- ・株式会社ありがとうカンパニー
- ・メガネ・補聴器の内山
- ・ひまわり信用金庫
- ・いわき市立小名浜東小学校
- ・双葉町
- ・いわき市立藤間中学校
- ・福島県立双葉高等学校
- ・福島県立双葉翔陽高等学校

## 広野町

- ・広野町立広野中学校

## 北塩原村

- ・裏磐梯観光協会
- ・北塩原村立裏磐梯幼稚園
- ・裏磐梯児童クラブ

## 金山町

- ・金山町観光物産協会

## 柳津町

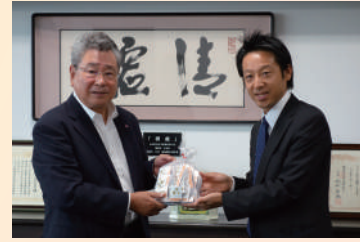
- ・柳津観光協会

## 鏡石町

- ・成田宝成会

## 南相馬市

- ・株式会社ホンダセンターウメダ





# 福島ひまわり里親プロジェクトの記録

## 2015年5月～2016年6月

(※一部掲載)

### 2015年



12月25日(金)福島民友新聞



11月4日(水)茨城新聞



10月31日(土)福島民友新聞

### 2016年



2月21日(日)福島民友新聞



2月22日(月)福島民友新聞



4月20日(水)福島民報



6月9日(木)福島民友新聞



1月21日(木)福島民友新聞



6月8日(水)熊本日日新聞



6月19日(日)福島民報



5月17日(日)福島民報



6月7日(日)日本海新聞



5月5日(火)福島民報



6月14日(日)中国新聞



6月17日(水)大分合同新聞



8月7日(金)福島民報



8月7日(金)山陽新聞



8月19日(水)福島民報

全国各地でプロジェクトの活動を取り上げていただきました。ありがとうございます。